

2024年11/21(木)~25(月) 3泊5日



当協会では2024年度もSC先進国“米国”の視察ツアーを企画しました。

2023年の米国経済は、不況を懸念する声も聞かれたなか、実質GDP成長率は堅調な伸びを見せ予想以上の成長となりました。また小売売上高も、Eコマースの割合が特に大きいながらも全体として成長を続けていると言えます。

本ツアーは米国のなかでも経済・文化・観光などの中心地である「ニューヨーク」を訪れ、米国SCや流通の最先端の状況を視察いただきます。初めて海外のSCを視察する方、定点観測的に米国SCを調査したい方など、今後のSCのあり方を探るうえで目的に応じて本ツアーを活用いただければと考えております。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ツアーのポイント

1. SC先進国“米国”において経済・文化・観光などの中心地である「ニューヨーク」のSC・流通の現在を視察します。
2. SCなどを視察する学びの場だけではなく、ツアー内で開催するパーティーにて参加者同士の情報・意見交換の場としても活用いただけます。
3. ニューヨーク在住で商業施設開発・都市開発に関する豊富な現地調査の経験を有し、日本の商業施設も良く知るコーディネーターによる現地視察同行・説明、セミナーにより深い知識を得られます。
4. 視察以外に自由視察の時間も設け、各社各自の目的に沿った商業施設・建物・専門店などを視察・体験いただけます。
5. 国際線利用航空会社は日本航空(JAL)、宿泊先は視察に適した立地のホテルを利用します。

コーディネーター紹介

ジェイ広山氏

Office J.K. Int'l Inc. 代表

卸売会社の営業および企画開発部門に勤務後、渡米。米国ニューヨーク在住。米国はもとより日本およびヨーロッパの流通業界に関する幅広い知識と商業施設開発(都市開発を含む)に関する豊富な現地調査の経験を有しており、日米欧を頻繁に行き来しコンサルティング業務、市場動向調査、講演会を手がけている。ほかに、当協会を含め米国流通視察のコーディネーターを数多く務めている。

大人お一人様ご旅行代金

※SC協会会員の方。
※お一人様1室のご利用。

556,000円

ツイン2名1室ご希望の場合

※SC協会会員の方のみ、
一般の方の設定はございません。

466,000円

主な視察予定先

※この写真は各視察先のイメージです。
※視察先は変更になる場合があります。予めご了承ください。

1日目

ベルmontパークビレッジ

ヨーロッパで9ヶ所、中国で2ヶ所のオープン・エアアウトレットモールを展開しているバリューリテイル社が建設を進めている、ニューヨーク近郊の新たなアウトレットモール。今年9月オープン予定で、総賃貸面積 (GLA) は31,586㎡でテナント数は160店と公表している。※オープン日が延期等になった場合、視察しない可能性がありますので予めご了承ください



シティーポイント

ブルックリンのダウンタウンに2016年10月にオープンした59階建ての超高層マンション(450戸)を複合した都市型パワーセンターで、キーテナントはアップスケールディスカウントストアのターゲット(都市型店)、プライマック、トレーダージョーズ、キャンプ。また、ブルックリンスタイルのフードホールであるデカルブマーケットもある。



ブルックリン・ダンボ地区

再開発が進み人気スポットとして注目を浴びている地域で、新たなフードコート「タイムアウトマーケット」もオープンした。



チェルシーマーケットおよびミートパッキング地区

ナビスコの工場跡地を改造して作られたユニークなフードマーケットで、小売と卸売50店ほどが軒を連ね、地域住民の人気スポットとなっている。また、ソーホーに次ぐトレンドイースポットとして注目を浴びている隣接するミートパッキング地区やハイライン公園が近接している。



2日目

アマゾン・フレッシュストア

アマゾンが急速に店舗網を拡大しスマートフォンや手のひら決済の他、スマートショッピングカートも導入したDXの最先端ともいえるスーパーマーケット。ただし、業績が低迷しており、現在戦略の見直しを進めている。



ウォルマート・スーパーセンター

世界最大の小売企業であるウォルマートの成長を支えているディスカウントストアとスーパーマーケットの複合業態。



アメリカンドリーム・メドウランド

2019年10月25日にオープンした巨大なエンターテインメント・モール。同SCは開発の45%がリテイルスペースだがGLAは約28万㎡にもおよびテナント数は450店を予定していたが、入居率は60%程度に留まっている。一方、55%をエンターテインメント施設に充てており、インドア・アイススケートリンク、ニッケルオデオン・テーマパーク、インドア・スキースロープ、レゴランド、ラッキーストライク・ラグジュアリーボーリングの他、ドリームワークス・ウォーターテーマパークなどがオープンしている。



ザ・ショップス・アンド・レストラン・アット・ハドソンヤード

総投資額240億ドルが投じ超高層ビル16棟を建設する民間が手掛ける米国史上最大規模の総合開発。オフィススペースの他に、分譲/賃貸マンション(居住人口5,000人)、ホテル、文化施設、学校、約1万7千坪に及ぶパブリックスペースを建設予定である。ラグジュアリーSCの「The Shops at Hudson Yards」は2019年3月にオープンしたが、キーテナントのニーマンマカスは、コロナ禍で破綻し閉店した。なお、2015年には地下鉄7号線の延伸工事が竣工し、ハドソンヤード駅がオープンしている。



マンハッタンウエスト

ハドソンヤードの東側の40エーカーの敷地に45ドルを投じて2013年から建設が進められていた6棟からなる複合商業施設となる「マンハッタン・ウエスト」が2022年9月28日にグランドオープンした。この施設はオフィススペース(557,400㎡)、レクリエーション&アメニティスペース(5,110㎡)や屋上テラス(418㎡)を備えている62階建ての高級分譲・賃貸マンション(844戸)、ラグジュアリーホテル「ペンダリー・マンハッタン・ウエスト」(164室)を擁している。



ツアー事前説明会

日時: 2024年11月6日(水)10:30~13:30(受付10:00~)

会場: 日本ショッピングセンター協会 会議室

開催形式: 当協会会議室およびオンライン

内容: ①10:30~12:00 事前説明会「米国流通事情(仮)」
②12:00~12:30 ツアースケジュールおよび注意事項
③12:30~13:30 懇親会または名刺交換会(会議室ご参加者のみ)

※時間・場所・内容等は変更になる場合がありますのでご了承ください
※詳細はツアー申込者にご案内します

日 程 表

日次	月日(曜日)	訪問地	交通機関	スケジュール	食事
1	2024年 11/21 (木)	羽田(東京)発 ニューヨーク着	JL006 専用車	08:30: 羽田空港集合 11:05: 空路、日本航空 JL006便(直行便)にてニューヨークへ 11:00: 着後、専用車にて商業施設視察 ●ベルモントパークビルレジ ●シティポイント・ブルックリン ●ブルックリン・ダンボ地区 ●チェルシーマーケット ○ミートパッキング地区 夜 : ★日本ショッピングセンター協会主催ウェルカムディナーパーティー 【ニューヨーク泊】	機内:2回 昼:一 夕:〇
2	11/22 (金)	ニューヨーク	専用車	終 日: 商業施設視察 ●アマゾン・フレッシュストア ●ウォルマート・スーパーセンター ●アメリカンドリーム・メドウランド ●ザ・ショップス・アンド・レストラン・アット・ハドソンヤード ●マンハッタン・ウェスト 【ニューヨーク泊】	朝:〇 昼:一 夕:一
3	11/23 (土)	ニューヨーク		終 日: 各自目的別自由視察 【無料オプションツアー】「商業施設視察(コーディネーター同行)」 地下鉄(交通費:各自負担)による市内・商業施設視察 ※前日(予定)に無料オプションツアーの参加有無を確認 ■ウエストフィールド・ワールドトレードセンター 2001年9月11日のテロによって崩落したワールドトレードセンターの再建を終え、2016年8月16日にオープンした地下鉄や近郊への通勤列車の発着する新ターミナルと複合されたSC。 ■ブルックフィールドプレイス オープン後25年を経て、大改装を実施しハイグレードなSCに変貌し、フレンチスタイルのフードホールであるル・ディストリクトやニューヨークの人気レストランが outlets しているハドソンイツと称するフードコートが併設された他、アマゾンゴーもオープンしている。 ■ソーホー地区 ニューヨークトレンドの発信地として知られ、話題のストアが次々とオープンしている。 ■五番街 世界のショッピングストリートとしてラグジュアリーブランドが立ち並び地域でティファニー本店もリニューアルオープンした。 【ニューヨーク泊】	朝:〇 昼:一 夕:一
4	11/24 (日)	ニューヨーク発	専用車 JL005	専用車にて、ニューヨーク(JFK)空港へ 13:30: 空路、日本航空 JL005便(直行便)にて帰国の途へ 【機内泊】	朝:〇 昼:一 機内:2回
5	11/25 (月)	羽田(東京)着		16:35: 羽田空港到着後、入国審査・通関後、解散	

※記載例:「JL」=日本航空

※記載例:「朝」=朝食、「昼」=昼食、「夕」=夕食、「機内」=機内食、「-」=食事なし

※記載例:●=商業施設(下車)

※視察先ならびに交通機関・時刻は変更になる場合がございます

☆時間帯の目安

早朝
 朝
 午前
 午後
 夕刻
 夜
 深夜

終日

04:00 06:00 08:00 12:00 17:00 19:00 23:00 04:00 09:00 17:00



